

52nd GECOSS REPORT

第52期 株主通信

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

目次

| | |
|---------------------|----|
| 株主の皆さまへ | 01 |
| トピックス | 03 |
| 連結財務諸表 | 08 |
| 連結財務ハイライト | 10 |
| 株式の状況 | 11 |
| ビジネス紹介 | 12 |
| グループ紹介・ネットワーク | 13 |
| 会社概要・役員 | 14 |



ジェコス株式会社

証券コード：9991

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第52期（2018年4月1日から2019年3月31日）の事業概況につきまして、後記のとおりご報告申し上げます。

ご高覧のほどお願い申し上げます。



Q1 | 当期の経営環境は いかがでしたか？

A1 当期におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、足下は中国経済減速の影響等により停滞感が見られ、外需弱含みの中で内需が景気を下支えするという構図が続いています。

当社グループの属する建設業界におきましては、首都圏での大型プロジェクト等を中心に需要は堅調に推移し、当社の仮設鋼材の稼働率も高水準となりました。一方で労働力不足、物流の逼迫化、鋼材価格の上昇に伴うコストアップの傾向は顕著になってきております。

Q2 | 当期の業績はいかがでしたか？

A2 このような経営環境のなか、当社グループでは、採算性を重視した受注活動を強化するとともに、コストアップ影響の抑制に注力し、収益の確保に努めてまいりました。その結果、当連結会計年度におきましては、売上高は1,083億78百万円、利益につきましては、営業利益60億9百万円、経常利益64億9百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は43億52百万円となりました。

Q3 | 次期の見通しについて お聞かせください。

A3 | 次期の建設業界は、民間需要は都市部の大型プロジェクト物件、公共投資も国土強靱化対策等により底堅く、東北地方の復興需要の減少は見込まれるものの、引き続き堅調に推移するものと想定しております。一方で、労働力不足、物流逼迫化、鋼材価格上昇の影響が強まり、さらなるコストアップとなる懸念があります。

このような経営環境において当社グループは、品質向上、コスト圧縮のさらなる推進と、価格の改善に努めるとともに、材料と工事の一括受注の拡大にも注力し、収益力の向上を目指してまいります。

また、中期経営計画の達成、『ジェコスグループ10年VISION』の実現に向け、重仮設周辺分野の受注拡大、橋梁関連インフラ・メンテナンス事業の体制整備、建機事業の拡大、ジェコス・ベトナムの活動強化を進めるとともに、新商品・新工法開発、技術力の向上に注力し、生産性アップと働きやすさ向上のための自動化投資等にも取り組んでまいります。

以上の諸施策を実施する結果、次期の連結業績の見通しにつきましては、売上高1,090億円、営業利益64億円、経常利益67億円、親会社株主に帰属する当期純利益は46億円を見込んでおります。

次期の1株当たり配当金額につきましては、年間35円（うち中間配当15円）を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長

馬越 学

「ジェコスグループ 中期経営計画 (2018~2020年度)」

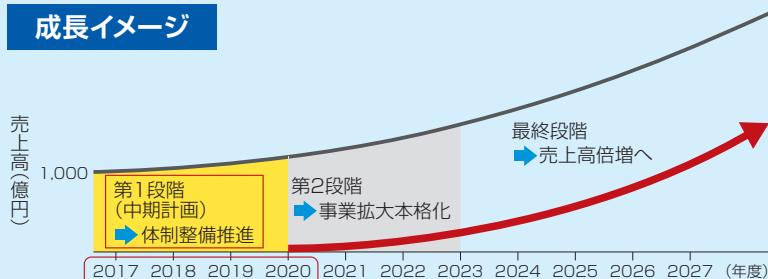
1 10年VISION

- 「重仮設リースと施工の企業」から「地下工事とインフラのトータル・ソリューション企業」への脱皮
- 当社が中心となり、提携・協力企業とのシナジーを発揮するネットワーク・コーディネーション
- 先端技術を積極的に導入した、先進的オペレーションの追求

実現に向けて

- ・事業領域の拡大と一式受注に向けた体制整備推進
- ・生産性アップ、働きやすさ向上のための投資推進
- ・既存事業の収益性改善

成長イメージ



2 中期計画 (2018~2020年度) の進捗状況

| | | 中期経営計画 | 2018年度実績 |
|------|--------|---------|----------------------------|
| 収益目標 | 売上高 | 1,200億円 | 1,084億円 |
| | 経常利益 | 85億円 | 64億円 |
| | ROS | 7% | 5.9% |
| 財務目標 | ROE | 10%程度 | 8.4% |
| | 自己資本比率 | 50%程度 | 52.3% |
| | D/Eレシオ | 20%程度 | 16.6% |
| 配当性向 | | 30%程度 | 普通配当 25.1% 記念配当含む 29.3% |

加工事業、東西二大拠点化へ

2019年1月にISOを2008年度版から2015年度版に移行し、仮設橋梁だけでなく本設橋梁の分野にも本格的に拡大進出いたしました。

今後は、長沼工場（千葉市）と大阪工場（大阪市）を加工事業の二大中心拠点とし、さらなる加工製品への対応を進めてまいります。



工場における橋梁の加工製作状況



セグメント溶接ロボット

また、人員不足への対応および安定した技術力確保のために、大阪工場にてセグメント溶接ロボットを導入いたしました。

今後も、工場の自動化・省力化といった作業環境の改善に注力し、建設産業の一層の発展に貢献してまいります。

働き方改革への取り組み



広島支店では、2018年7月の事務所移転を機にスマートオフィス化に取り組んでおります。



大阪支店、大阪工場が「女性が活躍し続けられる組織づくり」「仕事と生活の両立支援」「男性の育児や家事、地域活動への参画支援」について積極的に推進する企業として、2018年12月に大阪市より女性活躍リーディングカンパニーの認証を受けました。

パラ卓球支援

当社がスポンサーを務める日本肢体不自由者卓球協会が主催する「第39回ジャパンオープン・パラ卓球選手権大会」にボランティア参加いたしました。

当社は、日本肢体不自由者卓球協会への協力を通じ、障がい者への理解を深めるとともに、障がい者の卓球競技の普及活動と発展を支援していきます。



新卒採用サイトリニューアル

就職活動をしている学生に当社の魅力を更に知ってもらうため、若手社員でチームを組み、新卒採用サイトの大幅リニューアルを行いました。採用以外のページも2019年10月頃リニューアルを予定しております。



創立50周年記念イベント



創立50周年を記念して、ジェコス社員会の発案・企画にて「関東地区、関西地区運動会」および各地区で記念イベントを開催いたしました。

連結財務諸表

□要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 | 期別 当期 (2019年3月31日) | 前期 (2018年3月31日) |
|----------|--------------------------|--------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 71,818 | 71,769 |
| 現金及び預金 | 760 | 956 |
| 売掛債権 | 44,055 | 45,613 |
| たな卸資産 | 26,973 | 23,962 |
| その他 | 29 | 1,239 |
| 固定資産 | 29,733 | 27,913 |
| 有形固定資産 | 22,787 | 21,291 |
| 賃貸用建設機械 | 4,995 | 4,498 |
| その他 | 17,792 | 16,793 |
| 無形固定資産 | 475 | 413 |
| 投資その他の資産 | 6,471 | 6,210 |
| 資産合計 | 101,550 | 99,682 |

| 科目 | 期別 当期 (2019年3月31日) | 前期 (2018年3月31日) |
|-------------|--------------------------|--------------------|
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 42,629 | 42,513 |
| 仕入債務 | 31,637 | 35,998 |
| 借入金・リース債務 | 5,731 | 2,206 |
| その他 | 5,261 | 4,309 |
| 固定負債 | 5,824 | 7,134 |
| 借入金・リース債務 | 3,077 | 4,408 |
| その他 | 2,747 | 2,726 |
| 負債合計 | 48,453 | 49,647 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 52,085 | 49,007 |
| その他の包括利益累計額 | 1,009 | 1,024 |
| 非支配株主持分 | 3 | 4 |
| 純資産合計 | 53,097 | 50,035 |
| 負債・純資産合計 | 101,550 | 99,682 |

(注) 記載の金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

(注) 会計基準の一部改正により、前期は当該影響を加味した遡及修正値を使用しています。

□要約連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 期別 | 当期 | 前期 |
|-----------------|----|---------------------------|---------------------------|
| | | 自2018年4月1日 至2019年3月31日 | 自2017年4月1日 至2018年3月31日 |
| 売上高 | | 108,378 | 104,825 |
| 売上原価 | | 89,138 | 86,406 |
| 売上総利益 | | 19,240 | 18,419 |
| 販売費及び一般管理費 | | 13,231 | 12,572 |
| 営業利益 | | 6,009 | 5,847 |
| 営業外収益 | | 483 | 562 |
| 営業外費用 | | 82 | 97 |
| 経常利益 | | 6,409 | 6,312 |
| 特別損失 | | 13 | — |
| 税金等調整前当期純利益 | | 6,396 | 6,312 |
| 税金費用 | | 2,045 | 1,878 |
| 当期純利益 | | 4,351 | 4,433 |
| 非支配株主に帰属する当期純損失 | | △1 | △1 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 4,352 | 4,434 |

(注) 記載の金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

□要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 期別 | 当期 | 前期 |
|-------------------------|----|---------------------------|---------------------------|
| | | 自2018年4月1日 至2019年3月31日 | 自2017年4月1日 至2018年3月31日 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | | 1,252 | 8,912 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | | △ 3,568 | △ 2,771 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | | 925 | △ 5,404 |
| 現金及び現金同等物に係る 換算差額 | | △ 3 | △ 0 |
| 現金及び現金同等物の 増減額(△は減少) | | △ 1,395 | 738 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | | 2,156 | 1,418 |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | | 760 | 2,156 |

(注) 記載の金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

□連結株主資本等変動計算書 当期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | | | 非支配 株主 持分 | 純資産 合計 |
|-------------------------|-------|-----------|-----------|----------|----------------|----------------------|------------------|--------------|----------------------|-----------------------|-----------------|-----------|
| | 資本金 | 資本 剰余金 | 利益 剰余金 | 自己 株式 | 株主 資本 合計 | その他 有価証券 評価差額金 | 土地 再評価 差額金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に 係る 調整累計額 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 4,398 | 4,596 | 40,036 | △ 23 | 49,007 | 1,130 | △ 812 | 4 | 702 | 1,024 | 4 | 50,035 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △ 1,274 | | △ 1,274 | | | | | | | △ 1,274 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | 1 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 4,352 | | 4,352 | | | | | | | 4,352 |
| 自己株式の取得 | | | | △ 1 | △ 1 | | | | | | | △ 1 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | | 160 | 16 | △ 2 | △ 189 | △ 16 | △ 1 | △ 16 |
| 当期変動額合計 | — | — | 3,079 | △ 1 | 3,078 | 160 | 16 | △ 2 | △ 189 | △ 16 | △ 1 | 3,062 |
| 当期末残高 | 4,398 | 4,596 | 43,115 | △ 23 | 52,085 | 1,289 | △ 796 | 2 | 513 | 1,009 | 3 | 53,097 |

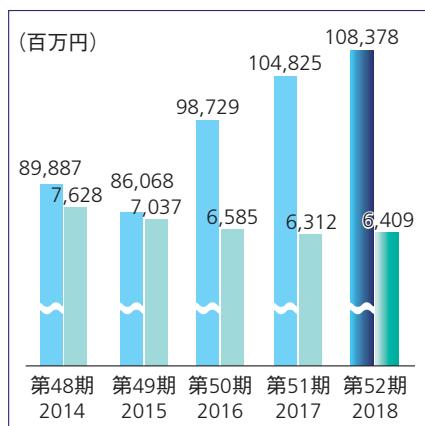
(注) 記載の金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結財務ハイライト

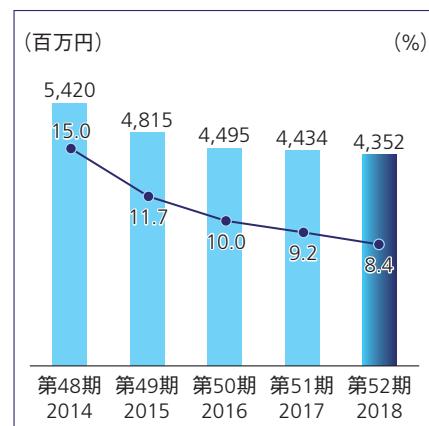
| | | | | | |
|-----------------|------------------------|--------|------------------------|------|-------|
| 売上高 | 108,378 _{百万円} | 総資産 | 101,550 _{百万円} | ROE | 8.4% |
| 経常利益 | 6,409 _{百万円} | 純資産 | 53,097 _{百万円} | 年間配当 | 35円 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 4,352 _{百万円} | 自己資本比率 | 52.3% | 配当性向 | 29.3% |



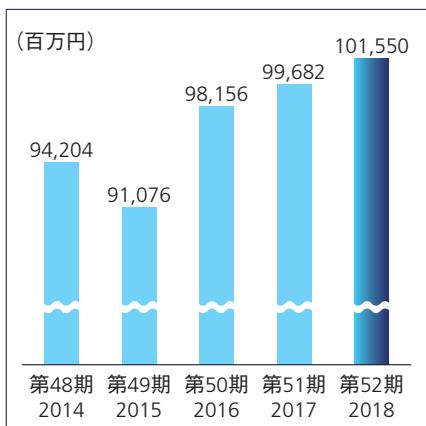
売上高 ■ 経常利益 ■



親会社株主に帰属する当期純利益 ■ ROE ●



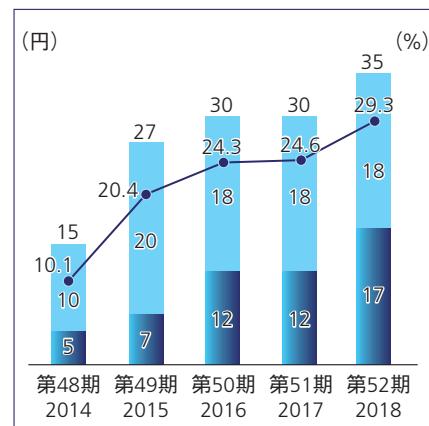
総資産



純資産 ■ 自己資本比率 ●



期末配当 ■ 中間配当 ■ 配当性向 ●



■発行可能株式総数 97,500,000株

■発行済株式総数 36,436,125株

(注) 自己株式38,702株を含む。

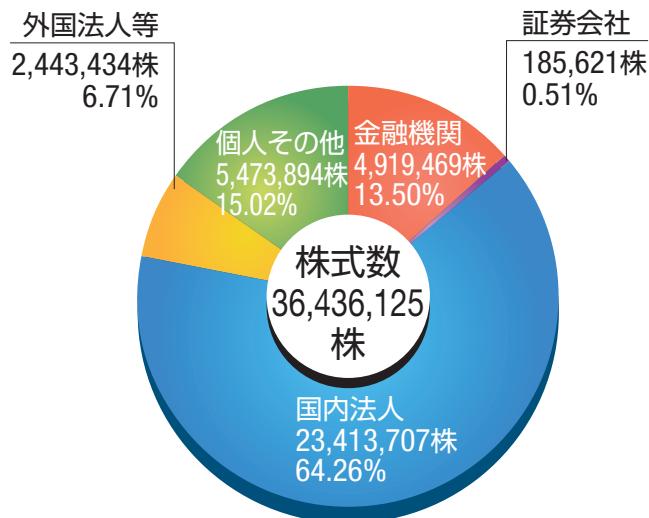
■株主数 9,473名

■大株主の状況

| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|----------------------------|------------|---------|
| | 持株数(株) | 持株比率(%) |
| J F E スチール株式会社 | 18,527,900 | 50.85 |
| J F E 商事株式会社 | 2,965,000 | 8.13 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,062,600 | 2.91 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 868,400 | 2.38 |
| ジェコス取引先持株会 | 827,200 | 2.27 |
| ジェコス社員持株会 | 588,063 | 1.61 |
| J F E 商事石油販売株式会社 | 522,720 | 1.43 |
| J F E 商事コイルセンター株式会社 | 510,983 | 1.40 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) | 500,100 | 1.37 |
| 株式会社三井住友銀行 | 432,322 | 1.18 |

(注) 単元株式数は100株数であります。

■株式分布状況(所有者別)



(注) 自己株式38,702株を含む。

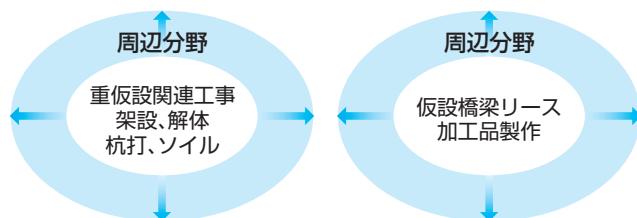
■株主メモ

決算期 毎年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 および特別口座の 三井住友信託銀行株式会社
 口座管理機関 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 郵便物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話照会先 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
 公告方法 電子公告
 なお、やむを得ない事由により電子公告
 をすることができない場合は日本経済新
 聞に掲載します。
 ※公告掲載の当社ホームページアドレス
<http://www.gecoss.co.jp>

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「重仮設リース・施工」の企業から「地下とインフラのトータルソリューション企業」へ

私たちの暮らしを支えるビルや道路などの大型のインフラ建設に欠かせない地下の基礎工事において、ジェコスグループは仮設の山留を中心とした材料供給・工事を行っています。今後はその領域を周辺事業に広げ、地下工事一式を受注する体制を構築し、安心・安全な社会の建設に貢献するとともに、先端技術の導入等により、働きがいの向上を追求する企業を目指してまいります。



建設仮設材の賃貸・販売

業界トップクラスの品ぞろえと保有量により建設現場のニーズに迅速に対応するとともに、Ecoラム工法等による作業環境改善や工期短縮など、新たな製品の開発も行っています。

仮設工事の請負

山留や構台の架設・解体工事、杭打・引抜工事、障害撤去工事などの仮設工事の設計施工において豊富な実績を有しているほか、地下工事一式受注、新技術・新工法の開発にも積極的に取り組んでいます。

加工・橋梁製品の製造・賃貸・販売

仮設工事における特殊な形状の製品ニーズにも、加工専門工場と全国の提携工場により、高品質の鋼製加工製品を提供しています。また、全国各地の橋梁関連の老朽インフラ・メンテナンス需要にも幅広く対応しています。

建設機械の賃貸

建設現場で使用される高所作業車や発電機に加え、地下工事、インフラメンテナンス事業等への領域拡大に対応した機種種の拡充を進めます。

グループ紹介・ネットワーク

■グループ紹介

ジェコスグループはグループ力を最大限に発揮し、街づくりを基礎から支えています。

【鋼材】

業界トップクラスの品揃えで、既製品のみならず、特殊な加工製品まで取り扱っています。

[関連会社]

GECOSS VIETNAM COMPANY LIMITED
協友リース(株)
北日本建材リース(株)



【設計・工事】

豊富な経験と実績を活かし、各建設作業所のニーズに合わせた施工をプロデュースしています。

[子会社]

ジェコス設計(株)
ジェコス工事(株)



【建設機械】

建設工事に必要なあらゆる機械や什器・備品まで幅広い品揃えで対応しています。

[子会社]

(株)レンタルシステム関東
(株)レンタルシステム東北
(株)レンタルシステム東海
(株)レンタルシステム西日本
(株)レンタルシステム信越

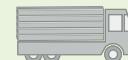


【運送】

全国に展開した工場ネットワークで、あらゆるオーダーに迅速に対応しています。

[子会社]

トラック・エンド・メンテナンス・サービス(株)



当社グループは、地下基礎工事等、建設現場における仮設材の賃貸・販売および設計施工、加工製品の製作・販売、仮設橋梁および建設機械の賃貸等、総合的な営業活動を展開しています。

■ネットワーク

(2019年6月20日現在)



本 社



- 本社
- 北海道支店
- 東北支店
- 千葉支店
- 北関東支店
- 横浜支店
- 水戸支店
- 新潟支店
- 名古屋支店
- 北陸支店
- 大阪営業部
- 広島支店
- 四国支店
- 九州支店
- 南九州支店
- ▲ 旭川営業所
- ▲ 帯広営業所
- ▲ 岩手営業所
- ▲ いわき営業所
- ▲ 蘇我営業所
- ▲ 岡山営業所
- ▲ 福山営業所
- ▲ 松山営業所
- ▲ 熊本営業所
- ▲ 沖縄営業所
- 函館出張所
- 青森出張所
- 盛岡出張所
- 秋田出張所
- 山形出張所
- 郡山出張所
- 群馬出張所
- 静岡出張所
- 長野出張所
- 富山出張所
- 宮崎出張所
- 北海道工場
- 仙台工場
- 東京工場
- 長沼工場
- 日本海工場
- 名古屋工場
- 大阪工場
- 中国工場
- 四国工場
- 福岡工場
- 鹿児島工場
- 富里機械センター

